※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語（総合系）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「文学国語」　（大修館書店）						
副教材等	―						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で課せられた作文や発表の課題に対して、自ら考え、周囲と協働しながら考えを整理する習慣をつけてください。
・様々な文章を通じて「読む能力」を向上させ、周囲との協働においては「話す・聞く能力」を磨いてください。また授業を通じて考えたことや感じたことを伝えるための「書く能力」を身につけてください。
・学習目標をたて、定期考査や小テストに計画的に取り組んでください。また、提出課題は期限を守り、評価基準を理解して取り組んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その性質を理解し適切に使っている。また、我が国の言語文化について、理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、豊かな想像力を伸ばすとともに、他者との関わりにおける伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしようとしている	言葉がもつ価値の認識を深めるとともに、生涯にわたって我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を示している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ［教材］ 「少なくとも最後まで歩かなかった」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ［教材］ 「そとみとなかみ」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。また、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 ［教材］ 「書く～言葉でスケッチ②魅力を言葉で表そう」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ［教材］ 「ナイン」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ［教材］ 「晴れた空の下で」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
二学期	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ［教材］ 「山月記」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] c：作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察

※令和４年度以降入学生用

	登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ［教材］ 「神去なあなあ日常」	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ［教材］ 「書く～思いを言葉に①エッセイを書こう」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]：「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	心情や情景描写に注意して読む。 ［教材］ 「その日東京駅五時二十五分発」	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：作品に興味をもち、登場人物の心情を理解したり作品の背景について考えを深めたりしようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 ［教材］ 「身内ほど厄介なものはない」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品に興味をもち、身の回りのことに当てはめながら筆者の主張を理解しようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
三学期	小説を読む楽しさを味わう。 ［教材］ 「鞄」	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 c：作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 ［教材］ 「柿」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。［(1)ウ］ b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。［B(1)イ］ c：作品に興味をもち、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	・定期考査		

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「ぼくのお母さん」	b[読]:「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:作品に興味をもち、文章の構成や表現の工夫について考えながら読み味わおうとしている。		・ワークシート	・ワークシート ・観察
	登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。 ［教材］ 「鉄道員」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] c:読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・定期考査	・ワークシート	・ワークシート ・観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　―　　)時間

・書くこと　…　(　　１５　　)時間

・読むこと　…　(　　５５　　)時間